

教育情報化の最前線 ICTメディアの健全な利活用の促進に向けて 総務省 情報通信政策局 情報通信利用促進課

当課では、ICTメディアの健全な利活用に向けて「ICTメディアリテラシー育成プログラム」を開発し公開しています。(http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/index.html)
このコーナーでは、現在重要な課題となっている情報モラルやリテラシー育成などについて、「最前線」で取り組まれている方々に紹介していただきます。

教室という安全な環境で、 限りなく危険な体験をさせてみる

体験的な学習で「情報モラル」を身につける教材システム 「情報サイト」の開発と実践

岩手県立総合教育センター

■実践のキーワードは‘体験’

岩手県立総合教育センターが実践している情報モラル研修のキーワードは‘体験’です。この‘体験’という言葉には「知識中心の情報モラルの指導には限界ある。情報モラルは、コンピュータやインターネットに触れさせながら指導する必要がある。効果も大きい」という強い思いが込められています。

しかし、インターネット上に実在する有害サイトやチャットを体験させながら情報モラルの授業を行うことは危険です。トラブルに巻き込まれたり有害サイトへのアクセスを助長したりするかもしれません。

そこで、インターネット上で遭遇する様々なWebサイトを、教室という安全な環境で疑似体験させることにより、児童生徒が自ら、有害サイトからの危険回避の方法や、インターネットの安全な利用方法について学ぶことを目的に開発した教材システムが教材「情報サイト」です。

■教材「情報サイト」の概要と活用のポイント

教材「情報サイト」は、[掲示板]、[チャット]、[有害サイト（アダルトサイト、ウィルス…）]、[ネットショッピング]、[ネットオークション] [フィッシング]といった情報モラルの指導に欠かせない様々なWebサイトを教室で体験することができます。

例えば、[有害サイト]の体験では、【図1】のようなアダルトサイトの疑似画面を提示し、「あなたは18歳以上ですか」の問いに「はい」「いいえ」のどちらを選択しても使用料24,000円が請求されるように仕組みでいます。

実際の授業では「もし、この様なサイトに偶然出会ってしまったなら『戻るボタン』か『閉じるボタン』

を押すように、場合によっては、直ぐに電源を切って家族に報告するように」と危険回避の方法を具体的に指導することができます。

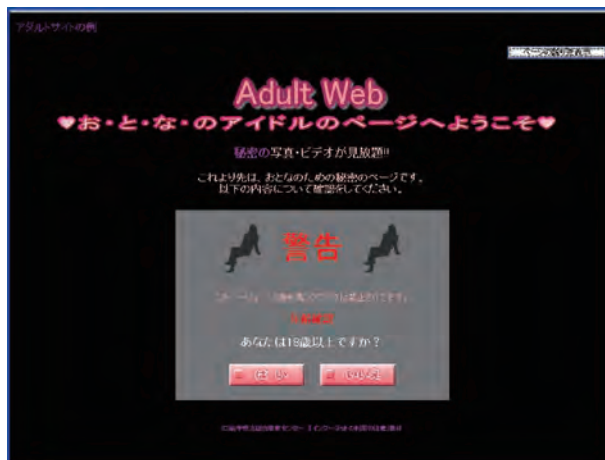
また、[掲示板]の体験では、次ページ【図2】のような画面から、一人一人が自由に書き込みを行い、その内容は互いに閲覧することができます。

これは、[掲示板]の一般的な機能ですが、教材「情報サイト」が優れている点は、自由に書き込ませた後に、サーバーに記録された通信情報を取得し、【図3】のように「誰が」「いつ」「何を」書き込んだかが一目で分かる画面を管理者側の情報として提示できることです。

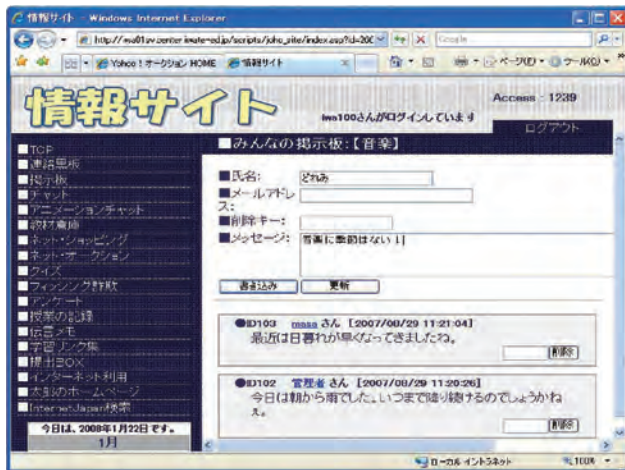
書き込みにハンドルネームという匿名を用いることから、児童生徒の中には、授業にもかかわらず‘無責任な’或いは‘冗談半分の’書き込みをする者も見られますが、ほとんどの場合、管理者側の画面を提示されると、表情が一変し、息を飲みます。

ここで指導者は、インターネットを利用する時は自

【図1】有害サイトを体験する画面



【図2】[掲示板]を体験する場面



分の書き込んだ内容に責任を持つことや相手の嫌がることは絶対に書かないといったルールやマナーについて説明します。‘陰口は止めなさい’という展開にもなりかねませんが、今時の子ども達には、このような形で、ネット社会の非匿名性を科学的に理解させることも必要と感じています。

■現場の目線でサーバーサイドアプリケーションを開発

教材「情報サイト」は、サーバー機で動作するサーバーサイドアプリケーションと呼ばれるソフトです。サーバー内の情報を利用できることから「チャット」や「掲示板」のようなWebサイトをリアルに再現し、

【図3】のようにネットワークの管理者側の情報であるアクセス者側の端末のIPアドレスやアクセス時刻を表示することも可能です。

通常は、プログラミングを専門にする人たちが扱う分野ですが、長く教壇の経験があり、これまでの情報モラルの指導法に限界を感じていた所員が、現場の目線でサーバーサイドアプリケーションを手掛けた結果、学校現場に役立つ、痒いところに手が届く教材「情報サイト」が開発されました。

■教材「情報サイト」が指導者を啓発、学校と保護者の連携も推進

昨年度、教材「情報サイト」を用いた研修や研究授業は延べ46回実施され、1,883名の教員や児童生徒等がネット社会の危険性を疑似体験しています。

当初、児童生徒向けに開発した教材でしたが、教員研修で紹介している中で、アダルトサイトを介した不正請求や、通信記録・ログの保存の仕組みに驚く教員も多く、指導者に対しても、ネット社会の実態を意識化させ、情報モラル教育の必要性を啓発することに役立つ教材であることが分かりました。また、教材「情

【図3】利用者を特定できる管理者側の情報

『情報サイト』 ver7.2 管理者ページ

■ログ表示(スレッド式掲示板) | 管理者さんがログインしています!

Excelファイルとして保存

No	IP	氏名	アクセス時間	タイトル	メッセージ
1	*10.94.251.27	花より団子	2008/05/02 8:57:22	なんといっても	花より団子だ なんといっても冷麺か 冷麺と焼きそば 岩手の味じゅん
2	*10.94.251.30	海猫	2008/05/02 8:54:48	石割せんべい	さくらならなんといっても石割飯。お土産には石割飯
-1	10.94.251.27		2008/05/02 9:15:06	RE:石割せんべい	裁判所前だと思っ
-2	10.94.251.28	みみみみマロン	2008/05/02 9:14:09	RE:石割せんべい	石割飯は 県庁前？ 公会堂前？
-3	10.94.251.16	はなはなメロン	2008/05/02 9:09:30	RE:石割せんべい	カメラ持った人の人たかめすこかったわ
3	*10.94.251.28	100本校	2008/05/02 8:52:16	お花見	北上農勝は数で勝負。とつてもきれいな(*_**)
4	*10.94.251.28	10	2008/05/02 8:50:32		
5	*10.94.251.14	海猫	2008/05/02 8:48:19	愛しや海	三陸海岸から単身赴任！海が恋しいよ
6	*10.94.251.17	春らんまん	2008/05/02 8:46:07	一本校	あの有名な一本校。我が家から車で5分だよ

報サイト」を用いた研修会を、県教育委員会事務局幹部、県立学校長、教育事務所長、指導主事等に対しても実施できたことから、管理者側からのニーズも高まり、その結果、今年度は、教育事務所や市町村教育委員会単位での研修会や研究授業の要請が数多く入ってきています。

関係機関との連携では、県警本部サイバー犯罪対策室や県民生活センターとの情報交換も進められ、また、学校においては、授業参観日に情報モラルの授業を行うなど、教材「情報サイト」を介して学校と保護者が連携した情報モラル教育も始まっています。

教材「情報サイト」は、岩手県の情報モラル教育推進に大きく役立てられています。

■携帯電話・携帯サイトへの対応

インターネットのトラブルから青少年を守ることは国の緊急の課題です。

教材「情報サイト」は、Webサイトにアクセスする端末として、実習室のコンピュータを利用していますが、高校生や中学生がインターネットにアクセスする手段として最も利用しているのは携帯電話・携帯サイトです。

そこで、当センターでは、次の研究課題として、実際に、携帯電話を使用する情報モラルの指導法に取り組んでいます。

教材「情報サイト」へのアクセスは携帯電話からでも技術的には可能なことから、安全性を考慮して、教室内でのみ使用が可能な「無線LAN対応携帯電話」を使用すれば、より実践的な情報モラルの指導ができると考え準備を進めています。

ネット社会から青少年を守るための新たな処方箋を、教材「情報サイト」に続いて、岩手から全国に発信できるかもしれません。